

避難について

気象情報などを確認し、万が一浸水した場合に備えて、以下のような避難行動をとりましょう。

大雨が降ってきたら

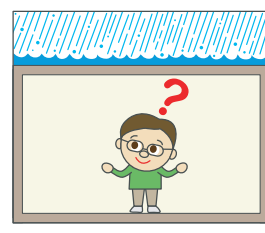
建物の2階以上へ避難するなど安全な場所へ一時的に避難しましょう

自分の家族や住まいだけでなく、近隣の方々にも目を向けましょう。特に高齢者世帯など、災害時に援助が必要な方には、ふだんからの気配りが大切です。

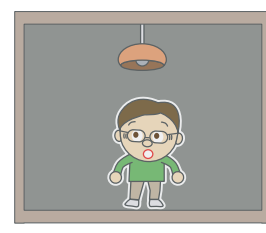


半地下住宅や地下駐車場では雨が降り始めたらすぐに上階へ避難しましょう

地下室では外の様子がわかりません



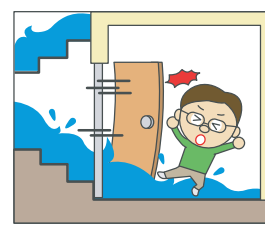
浸水すると停電するおそれがあります



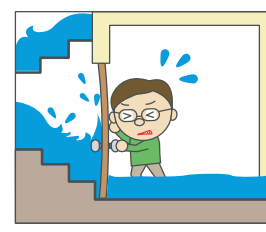
河川の堤防の決壊等による外水はん濫のおそれがある場合には、避難情報に従いましょう
避難時は、川や橋には絶対に近づかないでください。



地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます



水圧でドアが開きません



マンホールの異常を発見したら
大雨によりマンホールのふたが外れることがあります。発見した時は危険ですから近寄らずに下水道維持課へ連絡をお願いします。
お問い合わせ先はP.21へ

大量の水を排水するのは控えましょう
大雨のときには、大量の水を排水すると浸水する危険性がたかまりますので排水するのは控えましょう。



避難情報の種類と取るべき行動

低

避難準備情報

避難しなくてはならない状況になる可能性があるため、その準備を促す発表です。

- いつでも避難できるように、避難の準備をしましょう。
- ラジオやテレビの放送、市役所などからの広報に注意しましょう。
- お年寄りや子ども、身体の不自由な人は、早めに避難しましょう。

緊急性

避難勧告

市民に避難の開始を勧める発令です。

- お互いに助け合って、避難行動を始めましょう。
- 自動車での避難はできるだけやめましょう。

高

避難指示

被害の危険が切迫した時に発せられるもので「勧告」より拘束力が強くなります。

- 直ちに避難しましょう。